



28時の 深夜ラジオ

ON AIR : 28:00~29:00

DJ : ミナト

— 目 次 —

Chapter 1	オープニング	1
Chapter 2	確証バイアス	1
Chapter 3	曲リクエスト	2
Chapter 4	お便り紹介	2
Chapter 5	CM	2
Chapter 6	電話コーナー	3
Chapter 7	ブートストラップ・パラドクス	3
Chapter 8	エンディング	4



28時の深夜ラジオ

ON AIR : 28:00~29:00

2005年1月31日、28時

決定稿

DJ : ミナト

【チャプター 1：オープニング】

<ジングル>

<Midnight at 28_00>

ミナト：「皆様、こんばんは」

ミナト：「パーソナリティーのミナトです」

ミナト：「丑三つ時をこえて、午前4時となりました」

ミナト：「そんな時間にお届けする、28時の深夜ラジオ」

ミナト：「夜明けまでの1時間、ともに味わってまいりましょう」

ミナト：「よろしくおねがいします」

【チャプター 2：確証バイアス】

<ジングル>

<Cup>

ミナト：「〇年〇月〇日、28時の深夜ラジオ、はじまりました」

ミナト：「突然ですが、皆さんは『確証バイアス』って聞いたことがありますか？」

ミナト：「今夜はですね、心理学の話を少ししてみようかなと思います」

ミナト：「人間は、自分が信じたい情報ばかり集めてしまうそうです」

ミナト：「たとえば『実は炭水化物は太らない』って信じている人は」

ミナト：「その証拠ばかり探して、反対の研究結果はスルーしてしまう」

ミナト：「僕も最近、なんだか不吉な情報ばかり目に入る気がして」

ミナト：「でも深夜って、妙に考え込んでしまいますよね」

【チャプター 3：曲リクエスト】

<ジングル>

<リクエスト>

ミナト：「リクエストいただきました」

ミナト：「ラジオネーム、オンセンさとりさんからです」

ミナト：「限界ジライミライで『限界ジライ女子』」

ミナト：「どうぞ」

[曲：限界ジライミライ『限界ジライ女子』]

ミナト：「限界ジライミライで『限界ジライ女子』でした」

(ここでミナトの感想を一言)

【チャプター 4：お便り紹介】

<ジングル>

<Cup>

(※スタッフが選別したお便りを置きます)

ミナト：「ラジオネーム『〇〇』さん」

ミナト：「『〇〇』さん、お便りありがとうございました」

ミナト：「一旦CMに入ります」

【チャプター 5 : CM】

※CM 2 本 流します

- 2 -

【チャプター 6 : 電話コーナー】

<ジングル>

※ジングル明け着信音

※補足：突然電話がかかってきて、驚いた感じでお願いします
(※急遽、隔週の電話コーナーに変更となった都合です)

<Dead Air at A.M.>

ミナト：「あれ？着信だ。もしもし？」

ミナト：「『〇〇』さん、ありがとうございました」

【チャプター 7：ブートストラップ・パラドクス】

<ジングル>

<AM Signal>

ミナト：「さっきの電話、ちょっとびっくりしましたけど」

ミナト：「最近、同じ夢を見るんです」

ミナト：「ガラス窓の外から、じっと観察されていて」

ミナト：「こうしてマイクに向かっている今も」

ミナト：「暗闇の向こうから、無数の目が」

ミナト：「なんてね」

ミナト：「また小話なんですが」

ミナト：「『ブートストラップ・パラドクス』ってご存知ですか？」

ミナト：「未来から持ってきた本を、その作者本人に渡すとどうなるか」

ミナト：「例えば未来からハムレットの台本を、過去のシェイクスピアに渡すと」

ミナト：「シェイクスピアはそれを自分の作品として発表した場合」

ミナト：「誰がハムレットを書いたんだ？っていう」

ミナト：「因果のループですね」

ミナト：「このラジオにもちゃんと台本があるんですよ」

ミナト：「もしかして、このラジオも未来の台本を元に作っている」

ミナト：「なんてね」

ミナト：「僕のラジオ、アドリブだらけなんで、成立しないかもしれないですね」

【チャプター 8 : エンディング】

<ジングル>

<また来週の約束>

ミナト：「そろそろ夜が明ける時間となりました」

ミナト：「今夜の『28時の深夜ラジオ』、いかがでしたか？」

ミナト：「来週もまた、この時間にお会いしましょう」

ミナト：「お相手は、ミナトでした」

※補足：終わりぎわに意味深な一言をお願いします
(ギリギリ放送にのってしまった感じに調整します)